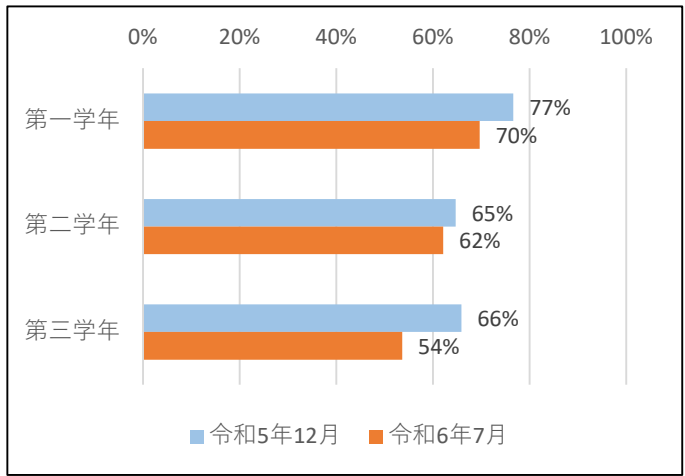


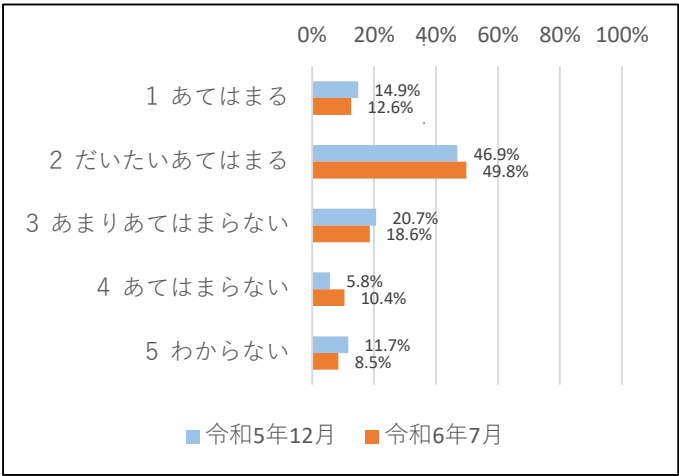
令和6年度第1回学校評価の結果について

※ 令和6年度の学校評価のグラフは、令和5年度との比較で学年別でグラフを示しています。
（グラフ上段が令和5年度、下段が令和6年度）

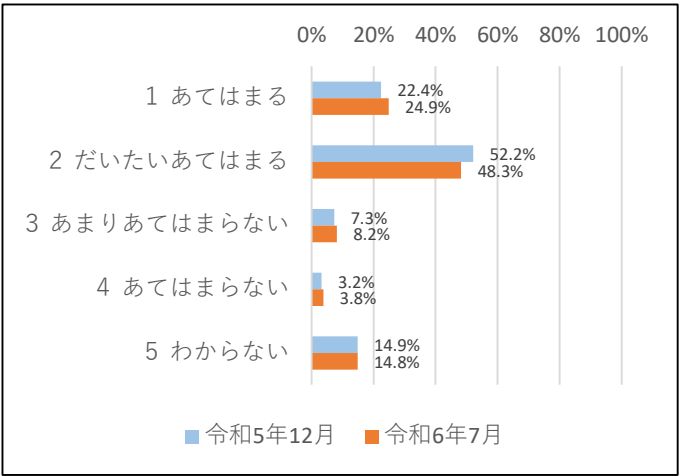
○学年別回答数



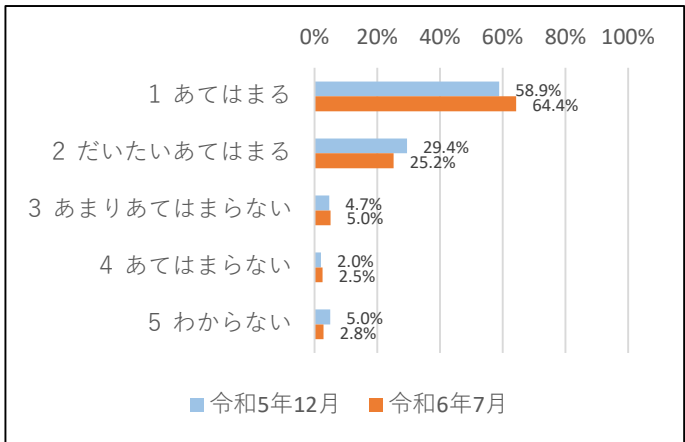
質問1 学校の教育方針『未来社会への知性』『人・地球との共生』『心身共に健康』を知っている。



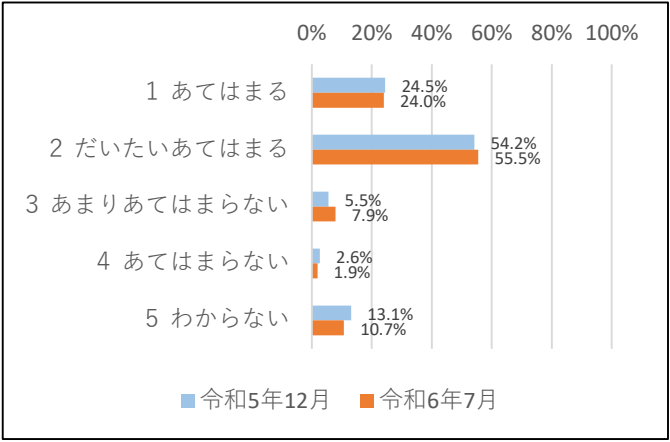
質問2 学校が「あいさつ」「身だしなみ」「道徳教育」「基礎学力の定着」に力を入れて取り組んでいることを知っている。



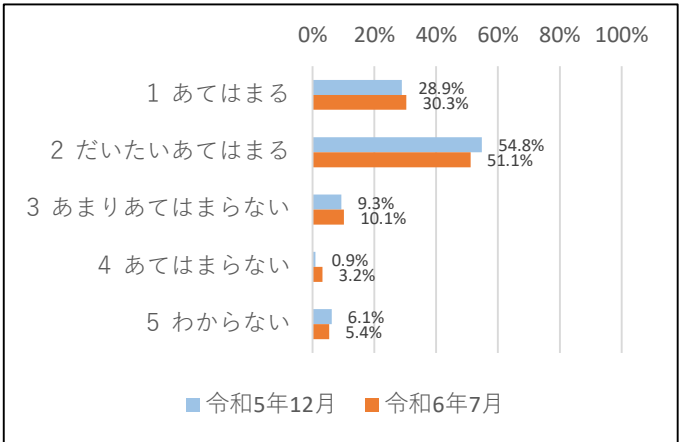
質問3 本校が第一・第四小学校と一緒に取り組みを行っていることを知っている。



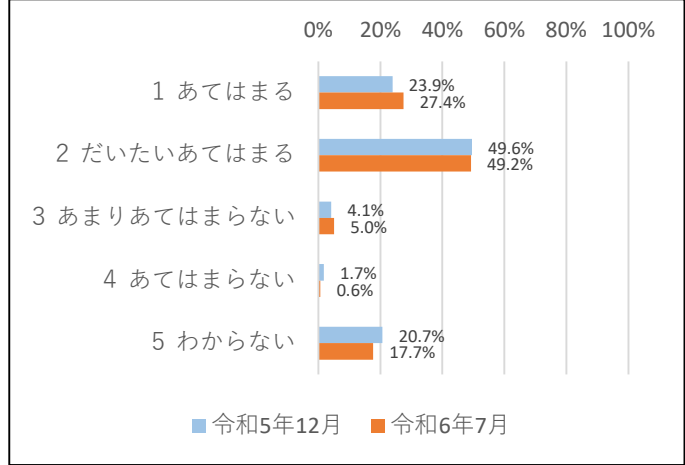
質問4 学校は、子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。



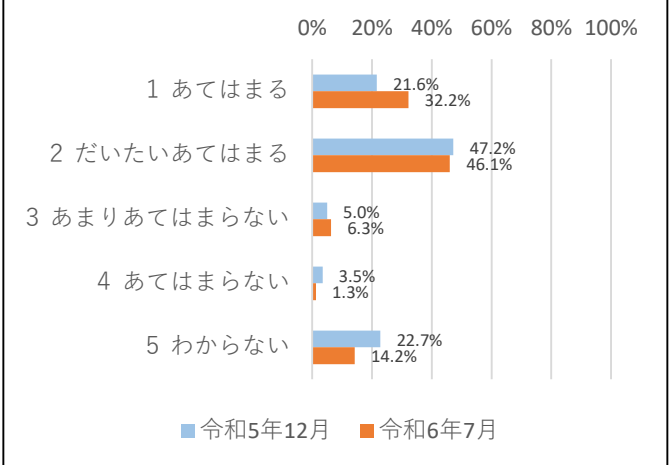
質問5 子どもの学級は、落ち着いて学習できる雰囲気である。



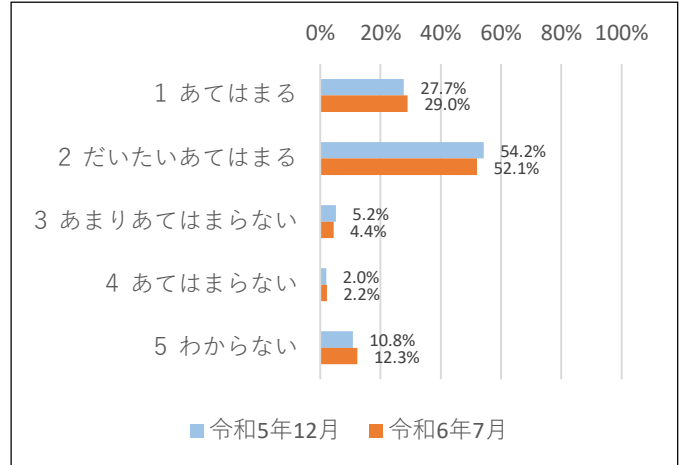
質問6 学校は、授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（ICT機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。



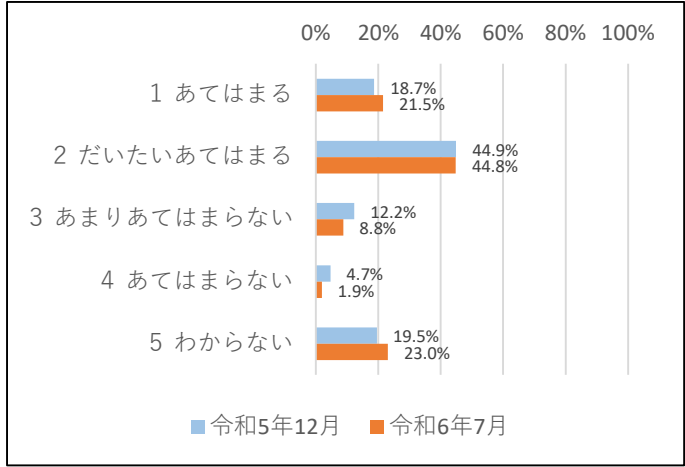
質問7 学校は、いじめの未然防止への取り組み、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。



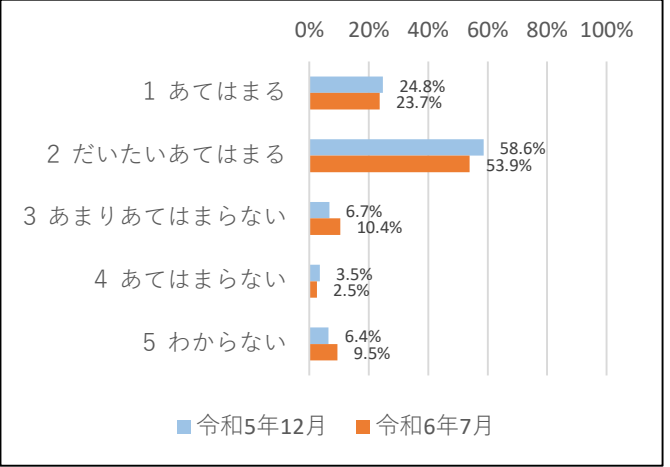
質問8 学校は、子どもの生活指導に適切に取り組んでいる。



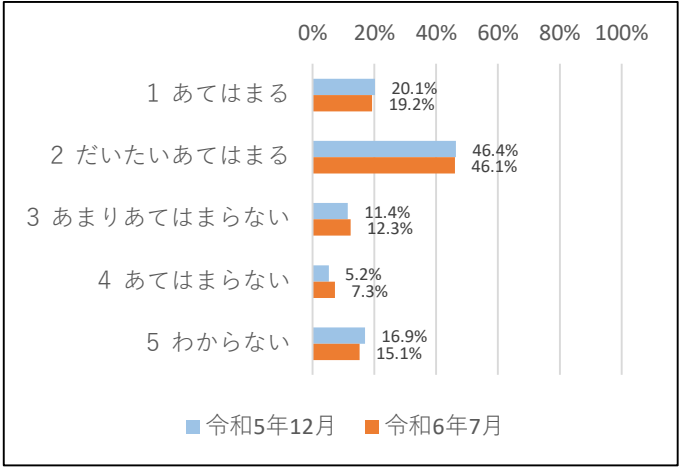
質問9 学校は、子どもの将来の進路や職業について適切に指導している。



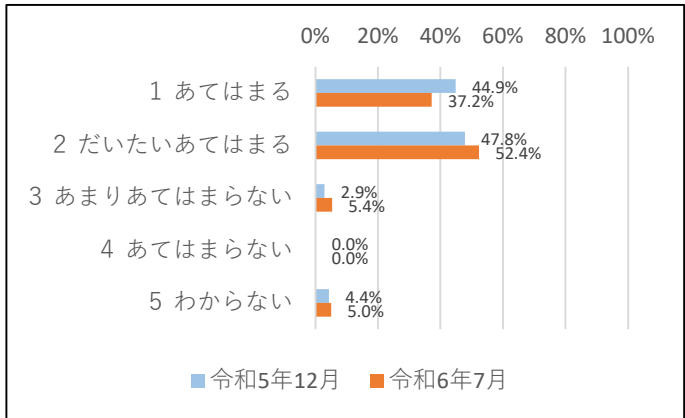
質問10 学校は、保護者に対して適切に情報を提供している。



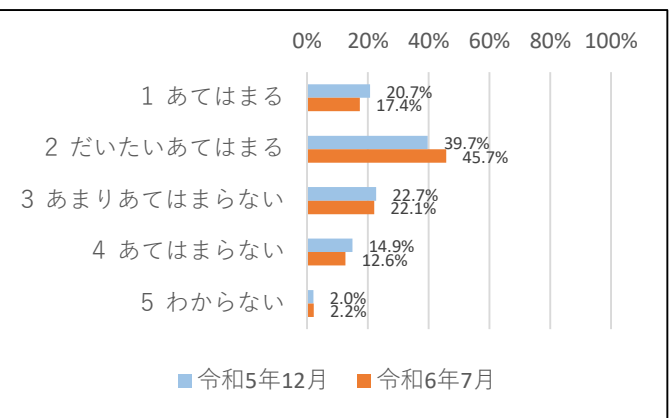
質問11 学校の子どもの学習活動に対する評価は、適切・公平である。



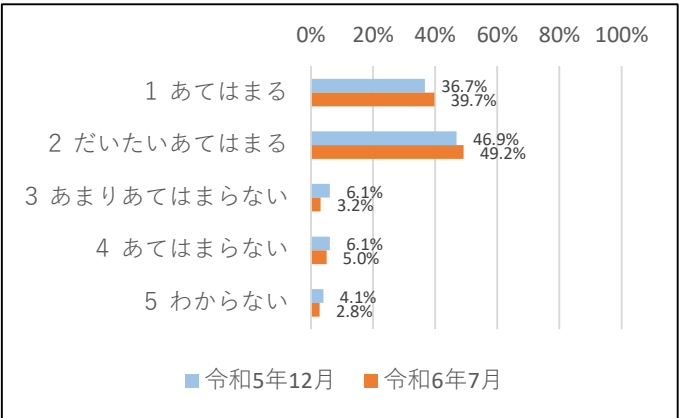
質問12 学校は、行事や授業を参観する機会を十分に設定している。



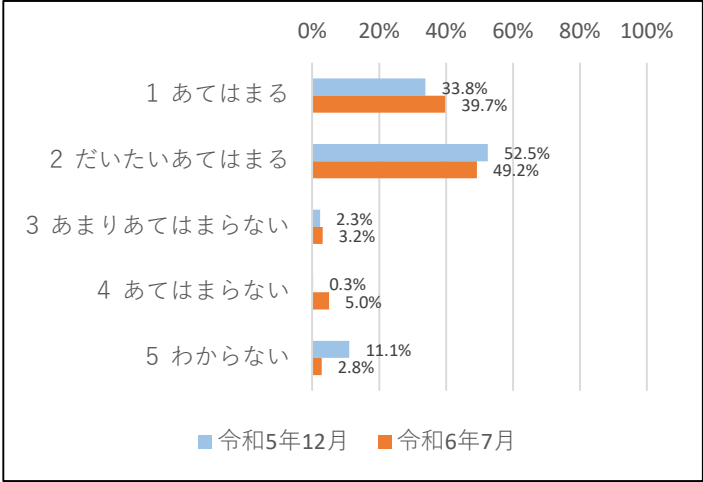
質問13 子どもは、家庭学習をする習慣ができています。



質問14 子どもは、楽しく学校生活を送っている。



質問15 学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。



【成果】

○一小・四小・五中と一緒に取り組みを知っているが増となった。

○授業におけるICTの活用の工夫、取り組みについてあてはまるが増となった。

○いじめを許さない取り組みにあてはまるが増となった。

○子どもは楽しく学校生活を送っているについてあてはまる、だいたいあてはまるが増となった。

【課題】

○学校評価の学年別回答数が減となった。（目標値は各学年70%以上を目指す）

○保護者に対しての情報提供についてあまりあてはまらないが増となった。（デジタル化を進め、一斉配信などに取り組む）

○適切・公平な学習評価についてあまりあてはまらない、あてはまらないが増となった。

（評価説明会、三者面談、保護者会等で評価材料、評価の方法等を根拠を基に繰り返しお知らせする）

○学校行事や授業参観の機会の設定について、あてはまるが減、だいたいあてはまるが増となった。（学校公開の期間設定を見直すなど設定方法を検討する）

（自由意見） ～自由記述回答～ （18件）

【第1学年】

- ・アプリを利用してペーパーレス化して欲しい。
- ・QR案件をリマインドする際は、QRも再掲して欲しい。
- ・下着はグレーも認めて欲しい。
- ・体育大会のクラス全員リレーで、校舎側を走る生徒は見る事ができますが、反対側を走る生徒が遠くて見えないので、せめて反対側を走る生徒の保護者だけでも、クラス全員リレーの時だけ反対側から見られるようにして頂けたらいいなと思いました。
- ・3年生のムカデ競走を復活して欲しいです。
- ・オンライン授業を導入して欲しい。
- ・定期テスト前の予想問題の意義は保護者会で伺いましたが、それでも成績向上につながるとは思えない。
- ・5中が内申点を取りにくいと噂になっています。とある学習塾のデータでも表れているそうです。頑張りが正當に評価してもらえることを望みます。
- ・部活への入部を進めることや、内申の加点がある中で、学校側の都合で未来ある子どもたちの楽しんで取り組んでいるものを取り上げるような動きは、子どもの心を傷つけ、心を乱すと感じております。頑張る子どもたちを蔑ろにする行為は、いかななものかと存じます。
- ・係の決め方など、学校(先生)の方針に多少疑問も感じますが、いじめがなければいいかと様子を見ています。
- ・整備が整っていて気持ちいい環境で学校生活が送れていると思います。部活動について、指針が少し厳しいかなとも感じます。
- ・子どもたちのことを良く見守ってくださりありがとうございます。

【第2学年】

- ・体育大会の後のお弁当持参日にお弁当を忘れた生徒が、担任に報告したにも関わらず家にも電話させてもらえず、昼食を食べていなかったと子どもら聞いた。他のクラスで忘れた生徒は、先生から家にかけてみなさ いとの声かけがあり、対応できていたとも聞いた。完全給食になり以前のようにお弁当を忘れた生徒用の白米とふりかけの用意は難しいかもしれないが、成長期の子どもに昼食抜きで 午後の活動は大変厳しいと思う。先生によって対応が違うというのもいかなものなのでしょうか。
- ・毎日登校服を体操着許可にして欲しいです。暑い日に女子はセーターを着ていたり、男子も長ズボン暑いので、配慮してほしいです。
- ・お世話になっております。「5中の働き方改革」について、昨今の状況を鑑みながらも進め方が少し強引な気がします。部活動の減少、勤務時間外の電話を自動音声へ切り替え、保護者や生徒の意見も聞かずに「ご了承下さい」の一言で済ませてしまうのは腑に落ちません。決して先生方の残業時間軽減に反対するわけではありません。対話をして欲しいのです。まず第一に生徒の意見を聞いて欲しいのです。「部活も勉強も頑張ろうね」と話していたのに、急な転向は子どもたちも混乱する事でしょう。「大人の都合」で変えてしまっていないのでしょうか。国の方針、都の方針、板挟みになった先生の気持ちも理解できなくないです。しかし、このような強引な改革では反感を買ってしまいます。対話することの大切さをもう一度考えて頂きたいです。
- ・三者面談をオンラインでできたら嬉しいです。
- ・2年生の英語のテスト結果、0～9点が20人いました。どのような学習指導がされているのでしょうか？義務教育にも関わらず、ついていけない生徒が多いように思います。・いつもお世話になっております。以下の2点をご確認、ご検討頂けると幸いです。
 - ①行事の際にカメラマンさんがいらっしゃるようですが、販売があまりされていないようなのですが、なぜなのでしょう。
 - ②学校からのプリントを出さないお子さんもいらっしゃるようなので、保護者会の予定はHome&Schoolから発信するのはいかがでしょうか。
- ・定期テストについて、問題の難易度が高く、授業で習ったことやワークで取り組んだこと以外の問題が出されている。ワークや教科書を学習しただけでは、点を取ることができない。考え方や思考の部分について生徒が考えるヒントなど、授業のなかで触れて欲しい。また、極端に平均点が低い教科がある。公立中学校であれば、どの学校でも同様な評価につながる体制にして欲しい。

【第3学年】

- ・校長の独裁者の様なやり方に納得がいきません。昨年までは顧問判断で行っていた部活も全くできなくなり、校長の判断で全て行っている事に違和感を感じています。何かしらの使命を持って5中に 配属されていると思いますが、その使命を達成するために、子どもたちが選択肢を奪われていっています。先生方の残業時間の問題が深刻なことは理解してます。ただその解決策＝部活という考えと一方的に決めるやり方に納得がいきません。来年度の生徒さんは今後部活が縮小されると説明を受けて5中に通う判断をされた方々なので納得がいくかもしれませんが、在校 生は違います。5中の部活に魅力を感じて入ってくる子もいる中で、部活を無くしたり、部活の活動日減らす取組を 急いで行う必要がどこにあるのですか。決定されたことを手紙で伝えられても納得いきますか。先生も一生懸命指導して下さっていて、子どもたちも強くなろうとしている場を奪わないでもらいたいです。何かの部活がなくなるとして、今までそのスポーツをがんばっていた子どもたちに、校長が決めたことだから仕方ないと諦めさせることが教育ですか。上司の言うことは絶対だと言われている様です。今と昔が違い、部活の在り方、先生の在り方が変わっていくことは仕方のないことだと理解しています。その変化を急速にやる必要はないと思います。ご自身の使命を達成するために、生徒に犠牲を払わせるのは止めて頂きたいです。
- ・5中ではなぜ内申点がとりづらいとよく耳にしますが、それがなぜなのか知りたい。
- ・評価材料を増やしてほしいです。自宅でやった提出物などの評価が成績に入らないと聞きました。自宅での子どもの様子を見ていますが、ちゃんと自分で調べさせたり、寝るのも遅くなる日もあったりと、時間をかけて完成させている姿をよく見ます。自宅でも真剣に取り組んでいる姿を先生方は見られないので、成績につけにくいところもあると思いますが、どの子も頑張っているのは確かです。提出物の評価をぜひつけてあげてください。

【学校からの回答】 ○第1学年

- 配布物などのペーパーレス化、デジタル化、グレー色の下着について
 - ・教職員と保護者間の連絡や調査・アンケートなどのデジタル化は書類の紛失や、渡し忘れが無くなり、保護者の満足度向上、負担軽減につながるとともに、回収にかかる時間が大幅に短縮されることで保護者や地域、教職員の負担も軽減されると思います。今後はより一層デジタル化を進め、ペーパーレスを進めて参ります。グレーの下着についてですが、社会の変化にともない、社会生活における基本的な習慣や常識を踏まえ、生徒の考えをよく聞き、生活の決まりは学校で今年度中に見直します。下着の色に限らず全ての内容について検討します。
- 授業に関すること
 - ・オンライン授業については、新型コロナウイルス感染症が学校保健安全法で5類に位置付けられる前については一部実施をしていましたが、同感染症が5類になったことから、対面の授業が可能となりました。学校がある意義として、子どもたちが教員や学級の仲間と対話をしたり、共に体験活動を行ったりすることが、将来社会に出て、生きる力の一つとして必要であると考えことから、コロナ禍のような緊急時や遠隔地にお住いの外部講師の先生による講演などを除き、授業は対面で行いたいと考えています。
- 定期テスト、評価・評定に関すること
 - ・学習指導要領に示された学習内容の定着を把握するための定期テストの出題内容精選、日常の授業内の取組や活動、学習状況の把握など今後もより正確に見取れるよう、本校の成果や課題を踏まえ、学習評価及び授業力向上に向けた教員の校内研修を実施します。今後も適正で信頼される評価に向けて取り組んで参ります。また、予想問題は生徒が主体的に作成しているもので、成績のためではなく、生徒一人ひとりが家庭学習の一助として、学習を振り返り、自己調整して試行錯誤しながら粘り強く取り組むものであると捉えています。その結果、学びが深まったり、学力定着のきっかけや授業における課題の取り組み方や考え方の一つにつながるのではないかと思います。
- 係決めやいじめ等の対応に関すること
 - ・生徒が主体的な意思をもって係活動を行うことは大変重要で意義深いものであると捉えています。御指摘いただいたことを踏まえ、次年度から教員が主導して決めるのではなく、未来の主権者としての自覚を育成するため、生徒が主体的に学級で必要な係活動について提案・企画し、決めて行けるよう改善を図ってまいります。
 - ・いじめ対応については、「いじめ防止対策推進法」や「いじめを許さないまち八王子条例」に沿った対応を確実に実施し、いじめに対して適切に対応して参ります。引き続き、いじめの対応に全力で取り組みます。今後も保護者の皆様に御協力を頂き、生徒に対していじめは許されない行為であるということをあらゆる機会を捉えて指導していくことが必要であると考えています。万が一、お子様の様子が普段とは違う変化が見られれば、「子ども見守りシート」に記載いただき、担任、学年の先生、管理職など誰でも結構ですので御提出いただければすぐに対応させていただきます。
- 学校行事に関すること
 - ・校庭や校舎配置、生徒数の関係上、コースの反対側への保護者見学については、思うように場所が確保できない状況ですが、再度、どの程度できるか検討して参ります。体育大会の競技種目については、生徒の安全と学習目標、教員からの技術指導が確実に行えるなどの条件等を踏まえ、今後も新たな特色ある競技に改善を図りたいと考えています。条件等を踏まえ、新たな競技種目の御提案や企画などがあれば、学級担任や学年主任または管理職までお伝えください。
- 部活動改革について
 - ・部活動改革は国が令和7年度末までを改革推進期間として、部活動を地域移行する方針を示しています。八王子市は国の方針より改革期間を1年延ばし、令和8年度末までに部活動改革を完了させる方針です。児童・生徒が生涯に渡り部活動に限らず広く活動できるよう、地域の活動の場を広げており、本校だけではなく各学校が令和8年度末までに市が示した部活動改革を行うこととなっております。現在も八王子市立学校で、加速度的に部活動改革を行っておりますので、生徒が部活動だけではなく、地域の活動に広く参加できる地域クラブ等の情報が入れば都度お知らせさせていただきたいと思います。また、2学期より通知表にも地域の活動などが2点程度記載できるようになりますので、配布するお知らせを確認していただき、該当があれば御提出ください。

【学校からの回答】　○第2学年

- 体育大会のお弁当の対応について
 - ・体育大会のお弁当を忘れた生徒の当日の対応についてですが、対応した教員に確認をしたところ事実と相違があるようです。聞き取った内容についてお知らせしたいので、直接、2学年主任または副校長まで御連絡ください。
- 夏の登校時の服装について
 - ・御提案ありがとうございます。夏の登校時の服装については、熱中症等の予防や暑さ対策のため、来年度から体育着等の登校など季節に応じて柔軟に対応します。
- 第五中学校の働き方改革について
 - ・教員の働き方改革に御理解いただきありがとうございます。教員の勤務時間外の業務(長時間の電話対応、各種調査・統計等の回答、集金や会計、パトロールなど)が毎年増加し、この問題は喫緊の課題でした。これらの状況も関係しているのか、教員採用試験の志願倍率も低くなり、国も教員の働き方改革について改善を図る動きも見られます。教員の働き方改革は教員にしかできない仕事(授業、教材研究、学級指導、生徒指導、キャリア教育、いじめ対応、不登校対応、学力向上、学校行事等)に専念できる環境を整えることです。教員が本来の仕事に専念できるようになれば、生徒にとっても授業や学校行事等でこれまで以上に質の高い教育を受けられるようになるのではないかと思います。現在、本校では保護者の方に御理解と御協力いただきました成果として、教員からは昨年度と比較して働き方が改善しているなどの肯定的な意見が聞かれています。このことを踏まえ、捻出した時間を活用し、次年度からは教科等の専門的な校内研修等を行い、教員一人ひとりの授業力等の向上に向けて取り組みたいと考えています。様々、御提案や御意見等がありましたら、遠慮なく管理職までお知らせください。
- オンラインによる三者面談について
 - ・保護者のお仕事の関係上、オンラインを望まれる御家庭もあることは承知をしております。教育は学校だけでは成り立たないということもあり、学校の様子や学習状況、学習状況に関する資料の提示、生徒自身が志望する進路等の大切な面談は、学級担任が対面を通して伝えたい思いなどを大切にしたいと考えており、感染症などのため、面談時に来校できない場合を除き、今後も対面で三者面談を行いたいと考えておりますこと御理解いただければと思います。
- 第2学年の英語科のテスト結果と学習指導について
 - ・小学校から行われている外国語活動の段階で英語につまずいていたり、中学校に入り英文法などでつまずいていたり、状況は様々です。中学校では授業の成果と課題を踏まえ、毎年、教員の授業改善に取り組み、生徒の学力向上に努めております。特に、定期考査や学力調査の平均点で生徒の学力について判断するのではなく、生徒一人ひとりの学力の定着を把握することから始め、今後も授業を中心に改善してまいります。英語科の授業に限らず、学習指導については小・中学校で連携して、改善を図ります。英語科に関しては英語の5領域(聞くこと、読むこと、話すこと、話すこと(やり取り)、書くこと)について指導方法の改善を図ってまいります。また、本校では家庭学習ノートの導入や放課後学習会、夏季休業中に補習教室を行っていますので、御家庭でも学習習慣を定着できるよう補習教室等の参加について促して頂ければと思います。
- 写真販売とプリント等の配信について
 - ・写真の販売は修学旅行(第3学年)、スキー教室(第1学年)のみです。販売の要望が多ければ検討できますので、各学年にお声を寄せていただければと思います。
 - ・デジタル化が進み、お知らせを容易に一斉送信することや紙代の節約ができることから、本校でも今後取り組みたい取り組みとしています。保護者の方には、受信設定や必要があれば各家庭で書類等を印刷するなどの必要性が出ることもありますので御協力いただければと思います。また、紙等で配布する必要のある書類(入試等で必要な書類など)もあります。提出が滞ると、受験等ができなくなるなどの事故が発生することから、各御家庭で「学校から配布されたものは当日に保護者に出す」、「期限を守って学校に提出する」ことについて、改めて生徒に御指導いただければと思います。
- 定期テストの難易度等について
 - ・現在の学習指導要領では知識及び技能の習得、課題解決のために習得した知識及び技能を活用し、思考・判断・表現する力、知識及び技能を習得したり、思考・判断・表現等を身に付けたりすること、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど学習を調整しながら学ぼうとしていることを見取る主体的に取り組む態度の3つの観点に関連させて評価をします。定期テストもこの3つの観点を踏まえた出題となっており、昔のように暗記主体の勉強だけでは回答できない問題(例:資料から問題に関連する事象を読み取り、根拠を基に説明する問題など)も出題されています。これは激しい変化のある社会において、求められる人材が変わってきていることを念頭に、学習指導要領も数年前に改定されたことによるものです。令和7年度から大学入学共通テストの出題内容や傾向も大きく変わると言われています。今後も生徒の将来の姿をイメージし、身に付けなければならない学力を確実に身に付けされるために、御指摘いただいた定期テストの難易度、思考・判断・表現について生徒が考える授業の充実も含め、教員が一丸となって、授業、定期考査や評価材料等をより良いものに改善して参ります。

【学校からの回答】　○第3学年

- 部活動改革、教員の働き方改革等について
 - ・御心配をされていることを踏まえ、御説明させていただきます。部活動改革、教員の働き方改革等については、第1・2学年で回答した通り、避けては通れない、後回しにできない全国的な重要な教育課題です。また、校長の意思決定までは教職員の意見や考え、提案や企画を校内で行われる企画調整会議を経て、職員会議で議題として取り上げ、教職員から考えを聞いたり、修正したり、生徒に伝えるべきことは伝えさせていただいています。最後は学校運営協議会に報告し、御意見や改善点等の助言をいただくなど、学校として必要なプロセスを経て決定しています。一連の改革は校長が一人で決定しているものではなく、市立中学校全校で進めている改革となります。また、将来活動したい部活動については、小中学生にアンケートを取り、本校の今後の部活動の在り方の参考として適切な範囲内の部活動の設置を考えて参ります。誰もが無理なく活動できるよう、現在各学校で改革を進めていることから、保護者の皆様におかれましては、全国的に各学校が地域活動に広く活動を展開していく方向であることを踏まえ、生徒のために部活動指導や試合での審判の御協力、地域クラブ等の立ち上げや参画などができる方がいらっしゃれば、今後も遠慮なく御提案ください。
- 評価・評定、評価材料について
 - ・評価は授業内の学習活動で身に付いた力等を3観点で評価をします。評価は授業内で知識及び技能を習得したり、課題解決に向けて思考・判断・表現したり、試行錯誤して粘り強く学習活動に取り組む態度などを見取ります。例えば授業に遅刻したことは学習の評価ではなく生活指導面の問題ですので評価材料にはしませんし、ノートを出したか、出さないかで評価するものではありません。ノートに授業のねらいについて、学びが深まっているか、考えたプロセスや振り返りの記述を基に学びが深ま定かを見取り評価するものとお考えください。宿題については評価材料としての視点ではなく、生徒一人ひとりが学習内容を家庭で振り返り、繰り返し学習したり、考えをレポートにまとめたりすることで復習を兼ねた学びの定着を図るものであると捉えています。近年は成績のために生成AIに作文やレポートを書かせ提出するなどの事例も報道などで聞いておりますので、評価材料は今後も精査が必要であると考えています。生徒の頑張っていることや努力している姿は、授業でも認めることができますので御安心ください。